

# 仏教界の再生誓い 改革にまい進

曹洞宗見性院  
(熊谷市)

橋本英樹住職

立場に立つて提供させて頂きます」と橋本さんは思いをこめる。もちろん寄付・年会費・管理費は一切不要。宗教・宗派・国籍を問わず分譲する。



橋本さんは2007年  
先代の父の後を継ぎ住職に  
就いた。しかし少子高齢化  
や核家族化など急速に進む  
時代の変化の中で、「21世  
紀これまでの檀家制度のま  
まではかなりの寺院が消滅  
していく」と停滞する仏教  
界の改革の必要性を感じて  
いた。そして12年、見性院  
の檀家制度の廃止に踏み切  
つた。  
熊谷市万吉の見性院は4  
00年以上続く伝統宗派の  
寺院でありながら、201  
2年に檀家制度を廃止し  
た。橋本英樹住職(50)は  
本さんは信徒がお寺との付  
き合い方を自由に選択でき  
る制度を導入し、檀家に頼  
らない自立した寺院経営を  
するため、仏事・供養に關  
わる業務を寺院自ら主体と  
なって行うなど様々な営業  
努力を続けている。  
昨年9月には熊谷市初の  
公認靈園として熊谷靈園を

熊谷市万吉の見性院は400年以上続く伝統宗派の寺院でありながら、2012年に檀家制度を廃止した。橋本英樹住職（50）は停滞する仏教界を再生しようと、様々な新しい試みで仏教界の改革にまい進している。

「お寺はこれまで檀家に頼りすぎてその上であぐらをかいてきた。これからは檀家制度に代わるようなや

公認霊園として熊谷開園。「事業者や葬儀社を仲介せず、当院で完成させた電気化のものを廉価に、お

な営業  
らうのもいい」。橋本さん  
はかつての寺の姿であつ  
た、人と人とのコミュニケーションの場としての寺院  
を手づくりを取り戻したいという。強  
い思いを抱き、仏教界の再  
生を誓う橋本さんの挑戦は  
これからも続いていく。